

2023 年 1 月 29 日

2023 年度聖路加国際大学大学院看護学研究科

課題研究

救急初療で患者の死を体験する看護師の感情に
おける多面性の文献検討

Literature reviews of Multiple Dimensions in the
Emotions of Nurses Experiencing the Death of a Patient
in Emergency Care.

21MN301

安部春香

救急初療で者の死を体験する看護師の感情における多面性の文献検討 論文要旨

背景

救急外来部門での患者の死、看取りは年々増加しているが、看護師にとって苦痛や困難、葛藤を伴う経験として報告され、支援や教育の充実の必要性が繰り返し述べられている。Chan は救急外来での死について、複数のパターンを報告しており、救急領域で働く看護師の感情体験も、否定的な側面ばかりではないことが推測された。海外文献では、死に際した患者への敬意や穏やかな感情の報告が散見されている。こうした感情を看護師が抱くことで、救急初療での看取りの体験は癒しや成長、学びの機会と捉えられる可能性があり、より幅広い看護師への支援の方法を模索できると考えた。

目的

救急外来における患者の死を看取る看護師の感情体験を明らかにし、その多面性を抽出する。特に陰性感情の範疇にない感情体験の記述に焦点化し、それらが看護師に与える影響について考察する。

方法

CiNii Research、CINAHL Ultimate、Cochran Advanced search、PubMed を用いて文献を検索し、含包基準に沿って文献を選択した。対象文献のリストとレビューを作成し、それぞれの研究における、「救急外来で死を看取る看護師の感情」の内容を、キーワードとして一覧表にマッピングした。さらに、従来示唆されてきた陰性感情に含まれないと判断された感情の記述を含む文献を二次的に抽出し、内容を抜粋して一覧表にまとめた。それらを整理、比較検討し、5つのカテゴリーに分類し定義を付与した。サブカテゴリーとして、抽出した具体的な感情を配置した。

結果

文献検索の結果、1次スクリーニングにて336件、2次スクリーニングで34件の論文が該当し、最終的に27本の原著論文を分析対象文献として決定した。各文献から読み取れた看護師の感情の様相を4つのカテゴリーに分類し、「悲嘆」「死の不安」「陰性感情」「陰性感情以外の感情」が存在することが明らかとなった。また各文献より感情の記述を抜粋し、比較を行うことで、焦点化した「陰性感情以外の感情」をさらに「死の受容」「患者への思いやり」「プロとしての意欲」「家族との共感」「祈り」の5つのカテゴリーに分類した。

結論

救急外来における患者の死を看取る看護師の感情体験は、否定的なばかりではなく、多様であることが明らかとなった。特に「陰性感情以外の感情」の中から、患者や家族を思いやる心情や、親密さ、思いやりや共感、敬意、憧憬などの穏やかな肯定的感情が見出された。

こうした感情の多面性は、悲嘆や不安、困難な状況に晒される救急看護師にとって内面的な支援となる可能性があり、自己認識され、セルフケアされていく必要がある。周囲からの適切なサポートや教育の過程にて尊重され、患者と家族への配慮を持ちつつ伸長されることが望ましいと考えられる。